

令和6年度“とちぎのいい木”非住宅建築物ウッドチェンジ事業計画書

1	対象施設名				
2	施工場所				
3	事業主体	所在地			
		名称			
		代表者名			
		担当者	部署名		
			氏名		
電話					
メールアドレス					
4	設計者				
5	施工者				
6	納材業者	県産木材： その他木材：			
7	事業区分	木造化 ・ 木質化 (いずれかを○で囲むこと)			
8	事業期間	年 月 日～ 年 月 日			
9	施設用途				
10	利用者及び人数				
11	事業目的	(施設整備における木材利用の考え方を記載)			
12	構造・規模	造 階建て 延床面積： m <sup>2</sup>			
13	木質化内容 ※木造化の場合も記載	施工面積： m <sup>2</sup> 施設における施工箇所：			
14	使用木材	総使用量	県産木材使用量	/	
		m <sup>3</sup>	m <sup>3</sup>		
		木材種類	(県産木材製品(無垢製材, 集成材, 合板, LVL, CLT, 重ね梁, 合せ梁等)の適材適所での積極的な採用や、JAS材などの品質・性能(強度, 含水率)が明示された木材の使用など、使用木材の選定に当たって留意した点を記載)		
		品質・性能に関する特徴			
	木材調達の工夫	(川上・川中・川下の連携協定など、木材調達に関する工夫を記載)			

15	技術性	<p>○構法・架構形式 (CLTパネル、トラス、ラーメンなど、先進的な構法・架構形式を採用しているなど、技術的に高いモデル性を有しているかを記載)</p> <p>○技術的工夫 (先進的な耐火技術の採用、一般流通材の活用による低コスト化、工期短縮、長寿命化など、技術的に優れた工夫が見られるかを記載)</p>		
16	モデル性	<p>○モデル性 (デザインや木材の使い方、見せ方(現し、木質化)など、意匠性、独創性、シンボル性などが優れているかを記載)</p>		
17	普及性	<p>○普及性 (木造・木質化の事例として優れており、類似施設を中心として波及効果が期待できるかを記載)</p> <p>○完了後のPRの取組 (県産木材や森林環境譲与税の活用に関するPRについて、具体的で実効性の高い取組方法が複数計画(標示板設置、見学会、アンケート、HPなど)されており、PR効果も期待できるかを記載)</p>		
18	事業費	全 体		円
		負担区分 (※該当するものに記入)	県補助金	円
			その他補助金	円
			自己資金	円

- 注) 1 面積、材積は、小数点以下第2位で記入(小数点以下第3位切捨)  
2 県補助金の額は、千円未満切捨